和歌山県の地震

令和7年9月

1. 和歌山県の地震活動

震央分布凶	•	•	•	•	•	1
概況	•	•	•	•	•	1
断面図	•	•	•	•	•	2
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧	•	•	•	•	•	3
震度分布図	•	•	•	•	•	3

2. 地震一口メモ

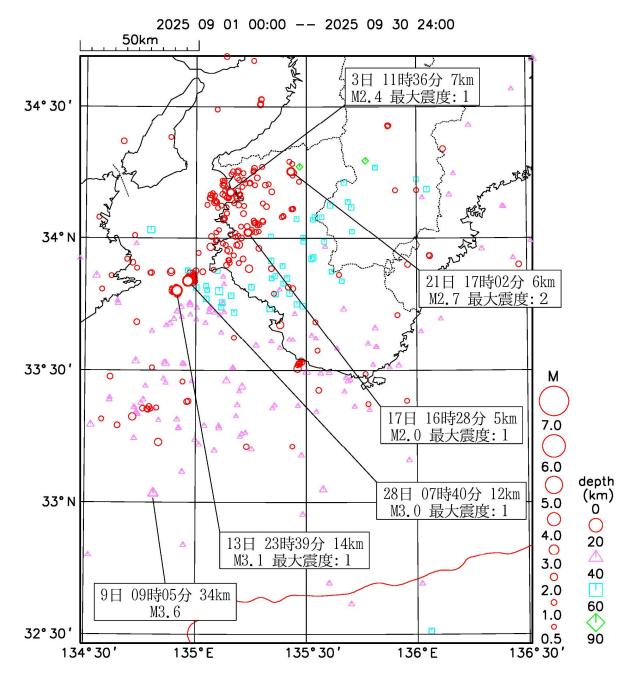
津波防災の日(世界津波の日) ・・・・・

- * この資料に使われている震源要素(北緯・東経)は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022 年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000(行政界・海岸線)を使用しています。

和歌山地方気象台

1. 和歌山県の地震活動

【 震央分布図 】



震央分布図は地震が発生した場所を地図上に描画したものです。

シンボルマークの大きさで地震の規模(マグニチュード)を、シンボルマークの形と色で震源の 深さを表しています。また、赤線は海溝軸(南海トラフ)の位置です。

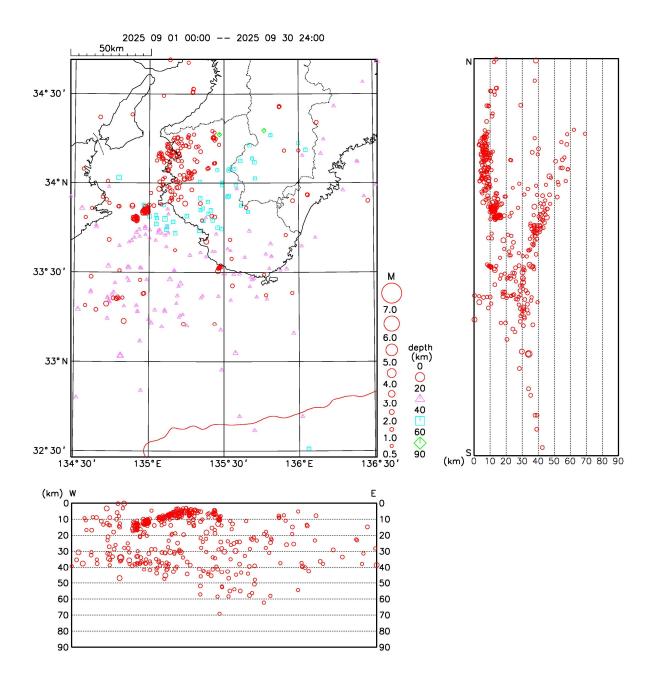
深さを表しています。また、赤線は海溝軸(南海トラフ)の位置です。 図中の吹き出しは、和歌山県内で震度1以上を観測した地震および震央分布図内で最も規模の大きな地震を示しており、日時、深さ、マグニチュード、最大震度を記載しています(最大震度は、和歌山県内とは限りません)。

【概況】

9月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード (M) 2.0 以上の地震は 29 回 (前月は 20 回) でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、9日 09 時 05 分 四国沖の地震(M3.6、深さ 34km)でした。

9月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、5回(前月4回)でした。

【断面図】



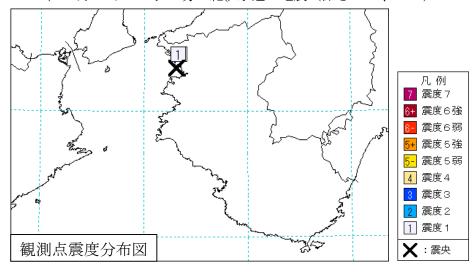
【 和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧 】

発震時(年月日時分) 震央地名 各地の震度(和歌山県内のみ掲載)	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2025年09月03日11時36分 紀伊水道 和歌山県 震度 1:和歌山市男野芝丁,和歌山市一		135° 09.3' E	7km	M2. 4
2025年09月13日23時39分 紀伊水道 和歌山県 震度 1: 湯浅町青木*	33° 48.1' N	134° 54.8' E	14km	M3. 1
2025年09月17日16時28分 和歌山県北部 和歌山県 震度 1: 湯浅町青木*	34° 01. 3' N	135° 14.1' E	5km	M2. 0
2025年09月21日17時02分 和歌山県北部 和歌山県 震度 2: 紀の川市粉河	34° 15. 2' N	135° 25.8' E	6km	M2.7
震度 1:かつらぎ町丁ノ町*,紀の川市	那賀総合センタ	一*, 紀の川市西	大井*	,紀の川市桃山町元*
2025年09月28日07時40分 紀伊水道	33° 50.3' N	134° 57.7' E	12km	M3.0
和歌山県 震度 1: 湯浅町青木*				

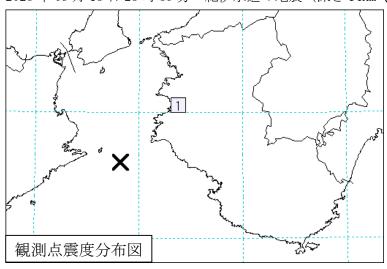
地点名の最後に*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【 震度分布図 】

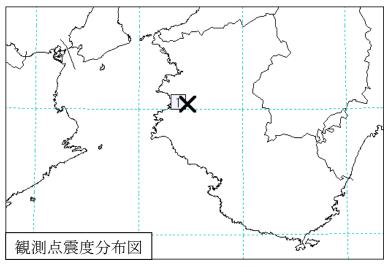
2025年09月03日11時36分 紀伊水道の地震(深さ7km、M2.4)



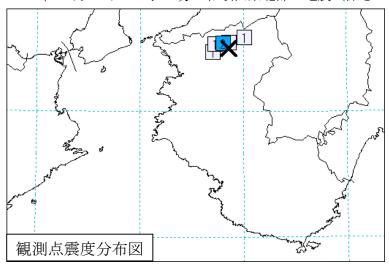
2025年09月13日23時39分 紀伊水道の地震(深さ14km、M3.1)



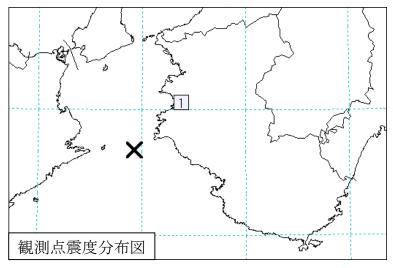
2025年09月17日16時28分 和歌山県北部の地震(深さ5km、M2.0)



2025年09月21日17時02分 和歌山県北部の地震(深さ6km、M2.7)



2025年09月28日07時40分 紀伊水道の地震(深さ12km、M3.0)



2. 地震一口メモ

津波防災の日(世界津波の日)

11月5日は『津波防災の日(世界津波の日)』です。

『津波防災の日』は、平成23年3月に発生した東日本大震災を教訓とし、平成23年に「津波対策の推進に関する法律」により制定されました。この日の由来は、嘉永7 (安政元)年11月5日に発生した安政南海地震 (M8.4)による津波が、紀州広村 (現在の和歌山県広川町)を襲った際に、稲に火を付け、村人たちを高台に避難させて命を救った「稲むらの火」の逸話にちなんでいます。この逸話に登場する「五兵衛」は「濱口梧陵」をモデルにしており、濱口梧陵は、被災後の村の復旧復興にも尽力したことで知られています。

『世界津波の日 "World Tsunami Awareness Day" 』は、2015年の国連総会において、日本をはじめとする142ヵ国の共同提案により制定されました。この決議により、津波の脅威への関心の高まりや津波対策が世界的に進むことが期待されます。

この日及び前後の期間には、地震津波に関するイベントや防災訓練が全国各地で予定されています。津波防災特設サイト(内閣府) https://tsunamibousai.jp/ には、訓練等のイベントが紹介されているほか、津波防災に関する知識や心得も確認できます。



※ 挿絵は津波防災特設サイト(内閣府)のポスターを一部編集しています

緊急地震速報の全国訓練

11月5日(水)10時00分頃に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。 和歌山県内においても、全国瞬時警報システム(Jアラート)や緊急地震速報受 信端末設置機関では、シェイクアウト訓練等が実施可能ですので積極的な参加を お願いします。

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/jishin/eew/kunren/2025/kunren.html